

J R 総連通信

2020年10月15日 No.1401

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

緊急支援カンパのご協力に感謝いたします！

豪雨災害に対する緊急支援カンパは、**3,311,000 円**を集約いたしました。ご協力いただきましたみなさまに、心より感謝を申し上げます。ありがとうございました！今後、関係する単組を通じて、被災された組合員へお渡しいたします。

九州激励報告②

「JR 総連通信第 1400 号(10月14日発行)」で九州の職場激励報告をお伝えしましたが、組合員のご実家被害も報告されている人吉市と、亡くなられた組合員の御尊父が入所しておられた「千寿園」のある球磨村を訪れ、お話しを伺うと共に直接義捐金をお渡ししてきました。

～人吉市・迫田副市長～



「頂いた義捐金に心より感謝申し上げます。被災した市民のために活用させていただきます。人吉市では未だに 300 名が避難所生活をしており、仮設住宅などの整備を進め、年内に避難所生活を解消できるように努力しています。復旧作業については、新型コロナの影響でボランティアの制限や、消防団の高齢化などにより苦勞しています。私の家も 1m 浸水しましたが、今までこのようなことはありませんでした。人吉市はSLが走るなど観光が大きな産業であり、鉄道が復旧しないと街の姿が大きく変わってしまいます」

～球磨村・門崎副村長～

「頂いた義捐金に心より感謝申し上げます。これまで球磨川が増水し道路は冠水したことはありましたが、線路まで被害を受けたことはありませんでした。約3400名の村民のうち40%が村外へ避難しています。今後、交流人口を増やしていきたいと考えています。そのために鉄道の復旧は欠かせません。現在、肥薩線復旧に向けて村長をはじめ関係各所に陳情にまわっています」



～球磨村「千寿園」～

特別養護老人ホーム「千寿園」では7月豪雨被害により組合員の御尊父が亡くなられました。現在も「千寿園」は当時のまま残されており、2階付近まで浸水した形跡が残されていました。犠牲となられた方々に対して黙とうを捧げてきました。

